

令和6年度 第2回 学校運営協議会



6月25日(火) 6年職業講話の様子

令和6年9月11日(水)13:40～
浜松市立浜名小学校

1 日 程

授業参観	13:40～14:00	各教室
全 体 会	14:00～15:30	多目的室
連絡事項	15:30～15:40	多目的室

2 内 容

- (1) 会長あいさつ
- (2) 校長あいさつ
- (3) 議長の選出
- (4) 前回会議録の確認
- (5) 熟議
 - ① 授業参観の感想

② 「学校に関する調査の結果」について

③ 部別協議

	委 員	オブザーバー	学 校
課題検討部	○加藤弘明 平野岳子 渡辺東作	望月聡太 金子まなみ	山田順子
地域体験部	○野末将平 高林 正 池谷勝元	渡邊涼子 協働センター	平本智之
学校支援部	○町田幹子 北村孝義 佐々木大輔	内山益巳 松島一博 中道三枝子	伊藤 充 柴田素女枝

【課題検討部】（学校運営協議会の活動について）

発達支援教室・校内まなびの教室運営について

- ・校内学びの教室（校内適応指導教室）では、不登校傾向の児童や教室で過ごすことが難しい児童への対応をしている。利用児童は、7名。
- ・昨年度の協議会で話し合いをし、現在、月曜日の朝、月・水・金の昼にボランティアの方が教室に入り、子供の様子を見守っている。火・木曜日の午後は、その他のボランティアがついている。
- ・利用児童は、見守る方がいるおかげで安心して登校できている。

○交通安全を語る会

- ・安全パトロール隊の方の参加を予定していたが、当日の悪天候により、参集しての活動は中止となった。そのため、地域の方と児童とを交えて地域の安全について話し合える機会は必要だと考える。

○小松商店会の活動

- ・前回話題になった小松商店会の取り組みについて、その後や、今後できそうなことについて。

【地域体験部】（本年度の活動について）

- 3月 じゃがいもの苗植え・・・雨天のため、ボランティアの方のみ
- 5月 じゃがいもの観察
- 6月 じゃがいもの収穫・児童に配布（2年生）
- 9月 コスモスの種まき・・・天候不順のため、ボランティアのみ
- 11月 コスモス鑑賞会

報徳社・小野口の会・・・

○あいさつを活発にするために

【学校支援部】（ボランティア活動について）

5年生の、ソーイングボランティア、6年生の職業講話の講師、学年での活動への付き添い等、保護者の方のボランティアが実施されている。2学期にも、引き続き行っていく。

クラブ活動はほとんどのクラブで地域や保護者の方がボランティアを務めてくださっている。

飼育・水かけボランティアについては、交代で務めてくれている。

読み聞かせボランティア・放課後勉強室・安全パトロールなど例年通り活動している。

○活動の様子を広めるために

- ・現在、協働センターや万葉の森、八百ひでに学校だよりを掲示している。さらに、広める方法はないか。自治会長会での伝達。

④ 部別報告・全体協議

(6) その他

①学校運営協議会自己評価について

②教育総務課より

次回、第3回学校運営協議会は令和6年12月13日(金)の開催です。

学校評価や学校運営協議会自己評価について話します。保護者と同様の質問用紙にて評価していただく予定です。本日の授業参観や、今後の行事等を参観いただき、評価をしてください。

※ 主な行事予定

校内運動会 令和6年10月26日(土)

まなびの発表会 令和6年12月10日(火)

浜名小学校運営協議会

委員

	氏 名	
1	加藤 弘明	会長
2	平野 岳子	
3	渡辺 東作	
4	野末 将平	
5	高林 正	副会長
6	佐々木大輔	
7	池谷 勝元	
8	北村 孝義	
9	町田 幹子	学校支援コーディネーター

学校支援コーディネーター

	氏 名	
1	金子まなみ	
2	渡邊 涼子	

オブザーバー

	氏 名	
1	中道三枝子	
2	望月 聡太	
3	松島 一博	
4	内山 益巳	
5	井田 正人	浜名協働センター

学校職員

	氏 名	
1	山田 順子	校長
2	伊藤 充	教頭
3	平本 智之	主幹教諭
4	柴田素女枝	CSディレクター

教育委員会

	氏 名	
1	井島 健蔵	

令和6年度 第1回 浜名小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月2日（木）（13時40分から14時00分まで授業参観）
14時00分から15時40分まで

2 開催場所 浜名小学校 多目的室

3 出席委員 加藤 弘明、渡辺 東作、野末 将平、高林 正
佐々木大輔、池谷 勝元、北村 孝義、町田 幹子

4 欠席委員 平野 岳子

5 オブザーバー 望月 聡太、松島 一博

6 学校支援コーディネーター
金子まなみ

7 学 校 山田 順子（校長）、伊藤 充（教頭）、平本智之（主幹教諭）
柴田 素女枝（CS ディレクター）

8 教育委員会 井島 健蔵

9 傍 聴 者 2名

10 会議録作成者 CS ディレクター 柴田 素女枝

11 会長の選出及び副会長の指名

司会の教頭から、昨年度に引き続き会長に加藤委員を推挙する旨の発言があり、全委員異議なくこれを承認した。またその後、会長に選任された加藤委員から高林正委員を副議長に推挙する旨の報告があった。

12 議長の選出

司会から会長の加藤委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

13 協議事項

- （1）学校経営方針について
- （2）教育活動計画について
- （3）夢育やらまいか事業について
- （4）部別協議

○交通安全を語る会への参加について

○活動をより広めるために

グループ①（加藤、渡辺、望月、金子、校長）

グループ②（野末、高林、池谷、主幹教諭）

グループ③（町田、北村、佐々木、松島、教頭、CS ディレクター）

（5）各部報告

（6）全体協議

14 会議記録

司会から委員総数9名のうち8名の出席があり、過半数に達するため会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校経営方針について

校長から学校経営方針について別紙資料 P11 に基づき説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 教育活動計画について

主幹教諭から教育活動について別紙資料 P12～P15 に基づき説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 夢育やらまいか事業について

教頭から夢育やらまいか事業について別紙資料 P16～21 に基づき説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 部別協議

(5) 各部報告

グループ①（加藤委員）

- ・「交通安全を語る会」に自治会や「安全パトロール隊」の方などに来てもらって危険箇所を記入した「安全マップ」を作ってはどうか。その後、作られた「安全マップ」を地域と連携をして広めて活用していきたい。

- ・月 1 回に行われている自治会の班長会を通して情報発信を行っていきたい。

グループ②（野末委員）

- ・朝のあいさつは新学期が始まり 1 か月たち上級生を見習い下級生もできるようになってきた。しかし、下校時はまだできていない。

- ・ボランティアには学区で仕事をリタイアした方をうまく取り入れ参加してもらってはどうか。また、ボランティアとはいえ時にはお礼を払ってもいいのではないか。

グループ③（町田委員）

- ・「交通安全を語る会」に実際の子供たちの登下校の様子を知る「安全パトロール隊」の方に来ていただくのがいいのではないだろうか。

- ・「コムスクだより」を小松商店街、協働センター、各地区のごみ捨て場など目につくところに貼り、現在学校にかかわりのない方にも学校の活動を広く知ってもらおうのはどうか。

(6) 全体協議

- ・小松商店街連合会では商店のくくりを超えて街を元気にする組織を起こしていきたいと計画している。小学生にも参加して発信をしていって欲しい。（望月コーディネーター）

- ・「交通安全を語る会」の参加の件だが、最近の自治会長や班長は仕事している方も多いので平日の参加は難しい、実際の登下校の様子を知ることからも「安全パトロール隊」の方がいいのではないか。（池谷委員）

- ・「交通安全を語る会」にたくさん人が来て困ることはないので多くの方に参加してもらいたい。（佐々木委員）

その他報告事項等

司会から今年度の会議の予定は、2 回目は 9 月 11 日（水）、3 回目は 12 月 13 日（金）、4 回目は 2 月 14 日（金）に多目的室で開催する旨の報告があった。

第2回 学校運営協議会 資料

* 保護者には、9月中旬配信予定

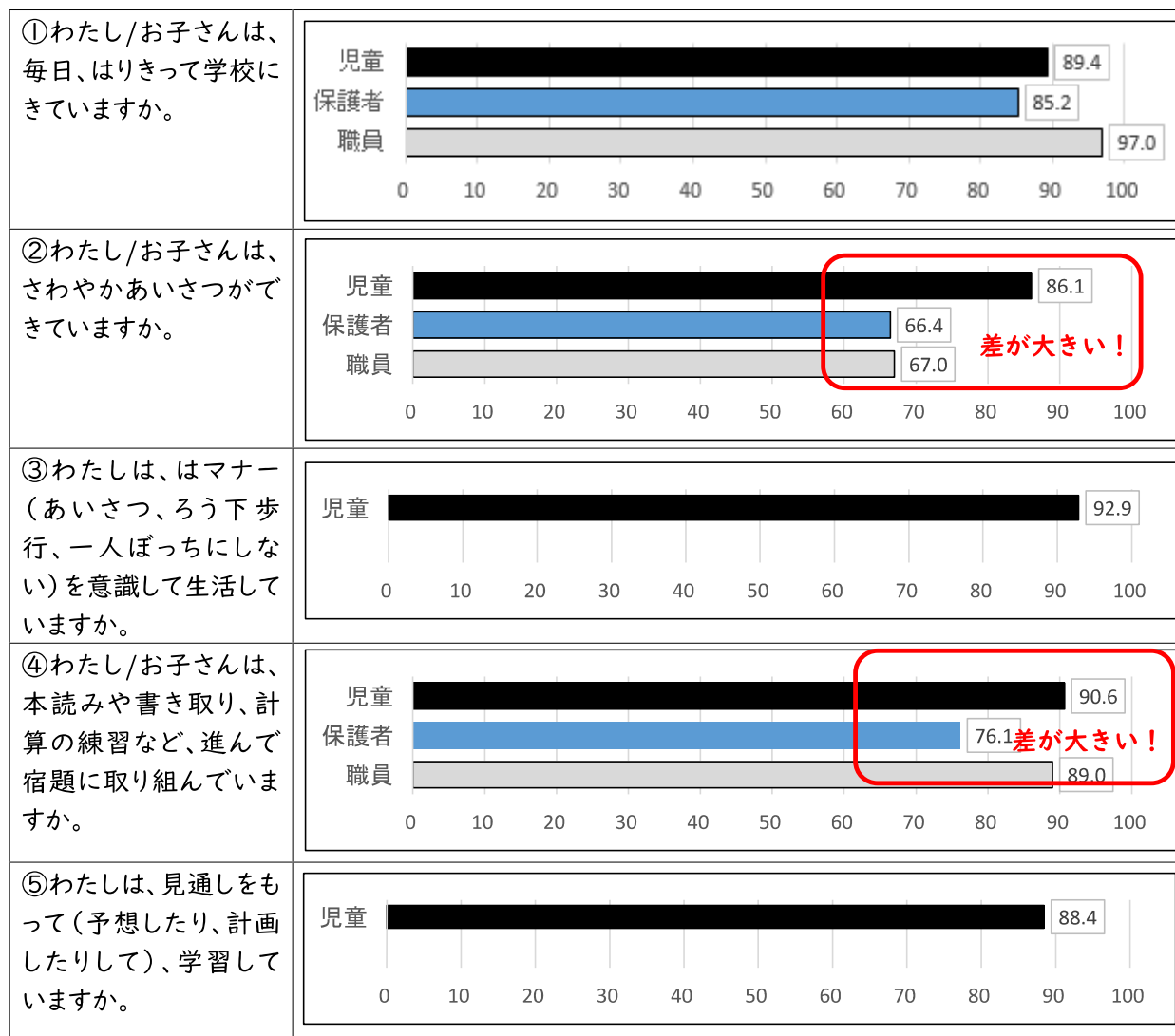
あすなろ

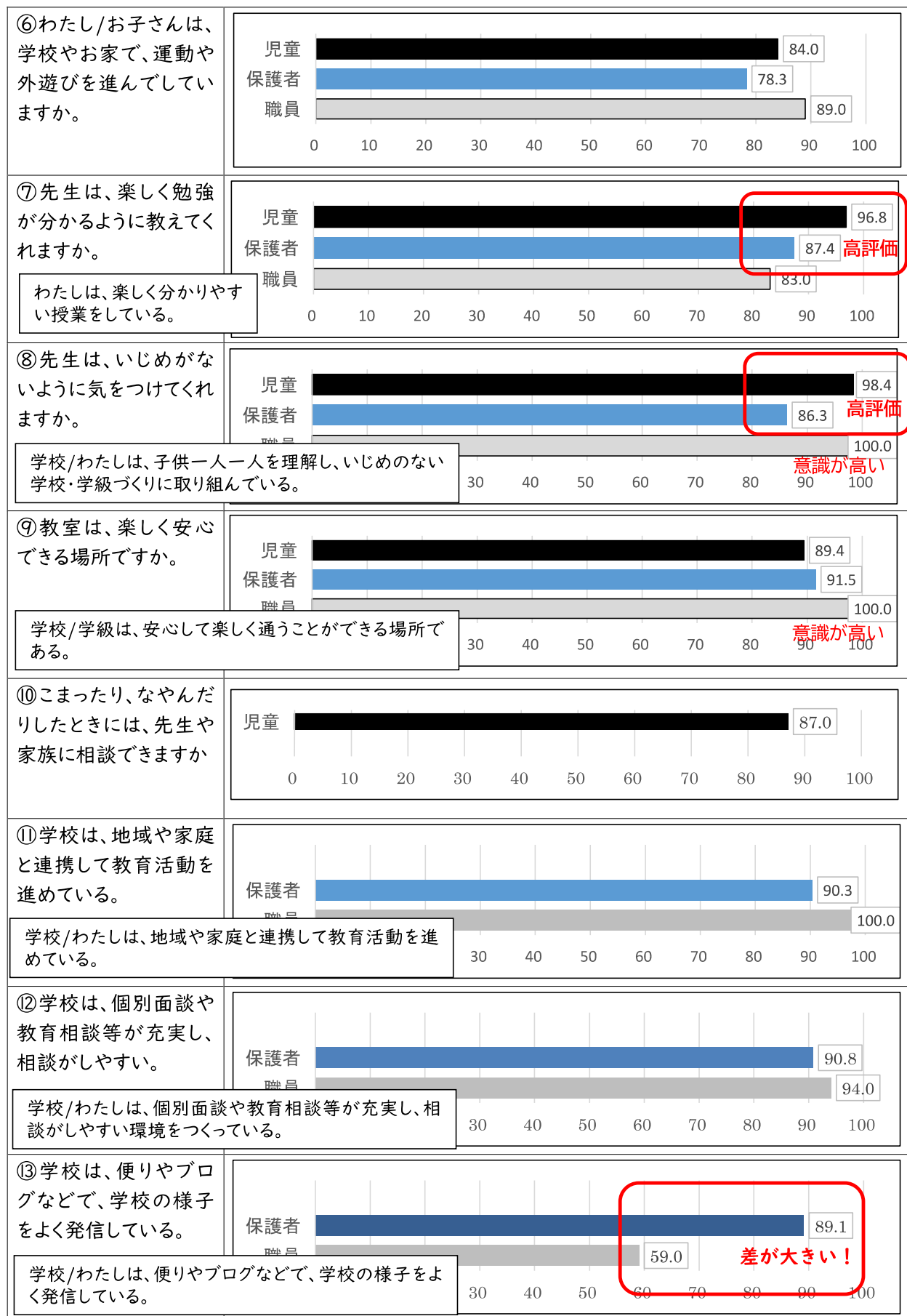
浜松市立浜名小学校
令和6年度1学期 学校評価号
浜松市浜名区小松1450
TEL: 053-586-3066 FAX: 053-586-3056
Mail: hamana-e@city.hamamatsu-szo.ed.jp

学校に関するアンケート（1学期末）の結果について

保護者の皆様には、「学校に関するアンケート」にご記入いただきありがとうございます。児童のアンケート結果と合わせて結果を考察、分析した内容や課題に対する改善、向上策等をお知らせします。

4段階評価（A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：思わない E：分からない）の内、肯定的評価のAとBを合わせたパーセンテージをグラフで示しています。（単位：%）





【回答の傾向】

児童の回答は、校内生活においては、おおむね9割程度の良い傾向が見られました。特に、「先生は、楽しく勉強が分かるように教えてください。」と「先生は、いじめがないように気をつけてくれますか。」の項目については、とても良い回答が得られ、教職員にとって励みになっています。しかし、どの設問に対しても、下位評価をつけている児童がいたり、学年によって傾向が違ったりすることが見られました。

保護者の回答を見ると、全体的に「B」の評価の割合が多いことが分かりました。『「C」をつけるほど悪くもない』が、『「A」をつけるまでの根拠がない』、といったことが評価に表れていると感じます。その中でも「A」の評価が多かったのが、「お子さんは、学校や家庭で運動や外遊びに親しんでいる。」と「学校は、安心して楽しく通うことができる場所である。」の項目です。どちらの項目についても230名以上の保護者が「A」の評価をされていました。しかし、「お子さんは、学校や家庭で運動や外遊びに親しんでいる。」については、「C」「D」の評価の割合も高く、運動に対する二極化が見られました。また、「学校は～」という質問に対して「E：分からない」の回答が1割弱ありました。

【結果から見る課題】

児童と保護者の回答結果から、課題となる内容は以下の2点です。これらのことについては、9月11日に行われました学校運営協議会でも議題として取り上げ検討しました。

① さわやかあいさつ

「さわやかあいさつ」については、児童の回答と保護者の回答の差が大きく、校外や地域で、進んであいさつができていないことが分かります。学校生活では、決まった場面で知っている先生や友達に対して、まとまってあいさつをすることが多いです。一方、校外や地域では、個々に目上の人や初対面の人へあいさつしなければなりません。



引き続き、企画委員会や地域の安全パトロール隊の方と協力しながら、あいさつ運動を実施していきますが、ぜひ家庭でもあいさつについて考えてみてください。

＜学校運営協議会のご意見＞

--

② 学習への取り組み

「家庭学習」についても、児童の回答と保護者の回答の差が大きく、意識の違いが見られました。子供たちは、「宿題はきちんとやっている。」と考え、保護者は質問項目にある「進んで」という言葉から「言われなければやらない。」と捉えたと考えられます。

今後も子供たちが、学習内容に興味・関心をもち、進んで取り組めるように、授業内容

を工夫したり、保護者・家庭と連携しながら、子供たちへの呼び掛け、支援をしたりして
いきたいと思います。

＜学校運営協議会のご意見＞

--

〈自由記述欄について〉

○ 熱中症が心配

9月に入っても暑い日が続いています。本校では、昇降口にミストを設置し、休み時間に子供たちが涼める場を提供しています。また、WBGT測定器を使って運動場の暑さ指数を測定し、数値を職員で共有しています。そのため、数値によっては外遊びや体育科の学習が中止となります。御家庭でも、水筒にスポーツドリンクを入れたり、登下校時に日傘やネッククーラーを使ったりしてください。6月から9月の登下校は、ヘルメットではなく帽子でも構いません。ただし、自転車に乗るときはヘルメットが必要です。学校でも呼び掛けていますが、ご家庭でも見届けをお願いします。

○ 集団下校について

暴風警報の発表や避難情報の発令等により、引き渡しや集団下校になる場合があります。有事の際に、安全に確実に帰宅できるよう年間4回の集団下校を実施しています。できる限り円滑に下校できるように努めておりますが、有事の際は、各家庭の事情等で帰宅先が変更になることが多いです。さくら連絡網や電話連絡いただいた情報をICT機器で共有したり、約700名の児童が円滑に移動できる動線を工夫したりしているところです。今後も安全に確実に帰宅できるよう、より良い方法を検討してまいります。

○ 学校からの便りについて

ペーパーレスやデータでほしいといったご意見から、日程調整が必要なものを除き、全家庭さくら連絡網で配信しています。下校時刻表や給食献立表など紙媒体の配布を希望される方は、担任までご連絡ください。お手数をお掛けしますがよろしくお願いします。なお、さくら連絡網のシステムは、学校→登録者の一方向の送信となります。

○ 登校時刻について

朝の登校時刻は、7時30分から7時50分の間となっています。この時間に一部の委員会で朝の活動が行われ、活動に間に合わないのご指摘を受けました。高学年の子供たちは、交通安全リーダーとして通学班の安全を優先し、朝の委員会活動については、その在り方を考えていきます。

自由記述には、30件ほどの御意見をいただきました。すぐに取り組めるもの、検討が必要なもの、そして難しいこともありました。お褒めの言葉も多数いただき、ありがたく感じています。また、子供たちへの接し方、指導の進め方として反省すべき点もありました。今後により良い教育活動を進められるように全職員で頑張ってまいります。

1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

＜評価項目＞

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標

※ 各協議会で追加する項目があれば5以降に設定する。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、CS便りや学校のホームページ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

（1）教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

（2）教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

【 熟議チェックシート 】

委員名 ()

できている もう少し

評価項目 1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞き置くだけでなく、よりよい学校運営のために建設的な意見を発言できた。
			学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
評価項目 2			学校運営について、率直に意見を述べることができた。
			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立浜名小学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- OPTAとも連携し保護者の参加やボランティアの拡大を目指したい。
- 学校の教育活動がより充実するよう、来年度も協議会として学校へ意見を伝えていきたい。
- もっと協議会の活動について周知を図る。
- 少しずつでも子供たちの様子を見られるように。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長からの学校運営の基本方針の中で分からない語句があった。それに対して、委員から多くの質問が出て、「分からないままにしない」、「より理解しようとする」という思いで取り組むことができている。
- 話し合いの方法を工夫し、より協議会として学校経営方針に沿った活動に取り組めるようにしていきたい。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 委員として授業を参観したり、学校の話を知ったりする中で、地域資源の積極的な活用やタブレットを使った学習などを進めていることがよく分かった。どのような人材が有効であるか、これから協議会の中で話し合っていく必要性を感じている。
- 学校の困りごとを聞けることで、協議会として取り組めること（学びの教室の支援、校内整備など）に必要な人材を呼びかけることができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 学校ホームページやさくら連絡網によって、協議会の内容や取り組みについて伝えることができている。
- より多くの方に知ってもらうために、地域での情報発信の場を増やしていく必要がある。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- PTAとも連携し保護者の参加やボランティアの拡大を目指したい。
- 情報発信の方法を工夫し、より多くの方に協議会の取り組みを知ってもらえるようにしていきたい。

学校に関するアンケート

1：そう思う 2：だいたいそう思う 3：あまりそう思わない
4：そう思わない 5：分からない

1	お子さんは、毎日はりきって学校に通っている。				
1	2	3	4	5	
2	お子さんは、「さわやかあいさつ」ができています。※「さわやかあいさつ」とは丁度よい声の大きさと、相手の顔を見て、相手より先に笑顔でと押さえています。				
1	2	3	4	5	
3	お子さんは、本読みや書き取りなどの家庭学習に進んで取り組んでいる。				
1	2	3	4	5	
4	お子さんは、学校や家庭で運動や外遊びに親しんでいる。				
1	2	3	4	5	
5	学校は、楽しく分かりやすい授業をしている。				
1	2	3	4	5	
6	学校は、子供一人一人を理解し、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。				
1	2	3	4	5	
7	学校は、安心して楽しく通うことができる場所である。				
1	2	3	4	5	
8	学校は、地域や家庭と連携して教育活動を進めている。				
1	2	3	4	5	
9	学校は、個別面談や教育相談等が充実し、相談がしやすい。				
1	2	3	4	5	
10	学校は、便りやブログなどで、学校の様子をよく発信している。				
1	2	3	4	5	